

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものに、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
<b>I. 理念に基づく運営</b>	<b>22</b>
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>	<b>10</b>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>	<b>17</b>
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>	<b>38</b>
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
<b>V. サービスの成果に関する項目</b>	<b>13</b>
<b>合計</b>	<b>100</b>

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	ゆひもや
(ユニット名)	3階
所在地 (県・市町村名)	静岡県庵原郡由比町由比 427-14
記入者名 (管理者)	山内 博美
記入日	平成 19 年 5 月 13日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念、グループホーム独自の理念ができています。	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼時や会議の前に唱和し、目標を具体化している。グループホームでは、職員間で具体的な理念について話し合い「嬉しい事は倍に悲しい事は半分に」出来る様に毎日の関りを大切にしている。	
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域推進運営会議を開催し、地域の方に啓発している。施設行事には、近隣の方の参加を呼びかけたり、ゆひもや便りの配布を行っている。ホーム内に明示し、パンフレットに理念を表示している。	○ 2ヶ月に1回、地域推進運営会議を開催し、地域の方にゆひもやの運営方針、活動内容を伝えていく為にも、有意義な会議として積極的に継続したいと思っております。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の方へ行事等呼びかけを行い、ボランティアや、学校などの協力を得ている。避難訓練にも近隣の人達に参加していただき、協力を得ている。散歩や地域の行事に参加し、地域の中に溶け込む様に心掛けている。	○ 地域密着型となり、地元のお客球が増えてきているので、近隣に知り合いの方も多いため、気軽に立ち寄って頂けるような雰囲気作りをしていきたいと思っています。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事には御客様と一緒に参加しているが、自治会、老人会への参加は、できていない。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	由比町の老人保険事業、老人会教育に講師として、講義をしました。由比町ケア会議に参加し、予防介護についての取り組みをしている。	○	今年度も地域に貢献できるよう、老人保険事業などに取り組んでいきたい。
いる				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価結果をホーム会議で話し合い、サービス改善に活かす様に努力している。	○	湖山ケア独自の監査も有りその都度確認を行っている。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回行ってるが、会議の内容の報告が職員全員に出来ていない。	○	運営推進会議の内容をホーム会議で報告し、話し合いサービス改善に活かす様にして行きたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	由比町ケア会議、由比町介護保険運営協議会に参加し、連携を取っている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している			
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待、身体拘束について話し合い、一人一人が自分を振り返ることで、防止に努めている。	○	目に見えない力の介護、言葉の虐待など見過ごされることがないように、今後も防止に努めていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	<p>今後も地域運営推進会議に多くのお客様に参加して頂き、普段の生活と違った場に出ることで、良い刺激を感じて頂きたいと思っています。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	○	<p>運営会議に一般職員(リーダー)が参加する事になっている。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		<p>下期、上期に全職員と面接の機会を設けている。職員の様子をみながら、随時関わりを持ち要望や不満を受け止めるよう努力している。採用に対し、適した人材を細心に厳選し、精神介護重視できる「人として」の信頼できる人に勤めて頂いている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部、内部研修に参加できるように勤務調整を行っている。施設内研修1回/月行い、部外研修は、職員全員が1回は参加する事が目標となっている。介護福祉士、ケアマネの資格取得の為への、講習会に参加出来る様にしている。	○ 今年度は、介護福祉士試験にチャレンジする職員が6名おり、施設内での有資格者による勉強会を開催する予定。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者との交流はないが、同法人のグループホームとの勉強会や交流は行い、お互いサービスの向上に努めている。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	グループホーム職員交流会を取り入れ、外部者と接し親睦を深め互いの悩み等、意見交換している。現状、職員不足により、職員にかかる負担が多く、ストレスとなっている。職員確保の為、努力している。	○ 19年度より3日間のリフレッシュ休暇が取れるようになっている。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	上期と下期に各職員が目標設定し、目標発表会で実績と取り組みについて全職員に発表する場がある。	○ 目標が達成できるよう、職員のバックアップをしていく。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に本人と面談し、話を聞く機会を作っている。本人から訴えることの出来ないお客様に対しては、信頼関係を築くところから初め、本人の気持ちになり、読み取れるよう、努力している。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に家族と面談し、納得行くまで話し合いを行っている。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている			
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービス開始時は、グループホームの雰囲気にも慣れて頂ける様ご家族と相談しながら、工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に喜び合う事の大切さを職員は理解し、一緒に楽しんだり、感謝したりしている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ゆひもやの行事には家族を誘い協力していただき、家族旅行などを企画して、外出や旅行等の機会を作り、楽しい一時を過ごす事が出来ている。来訪時は、現状報告しご家族と共に支える姿勢をとっている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	訪問時には、家族同志でゆっくり過ごして頂けるように、談話コーナー、居室、居間は自由に使っていただき、来やすい雰囲気を作っている。家族が見えられて時には、声を掛ける様に心掛けている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人への手紙や電話は、希望に合わせてプライバシーに配慮しつつ対応している。散歩、買い物、お祭りなどに参加出来る様にお手伝いし、交流が出来る様に配慮している。ドライブなどで馴染みの場所などに案内するよう心掛けている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	御客様同士の関係をこわさない様配慮し、助け合える様にさりげなくサポートしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後も本人に関する保健医療、福祉関係者と情報交換を行っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	面会時や、家族会などでご家族の意見を聞き、普段の生活を通して御客様の要望を聞くようにしている。困難な場合には安全面を考慮して楽しみのある生活が送れるように考えている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式のアセスメントを使用して把握に努めたり、面会時や、家族会などで家族の話しを聞く様に心掛けている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	1日の過ごし方は、センター方式の週間サービス計画表に記入し、把握している。心身状態は、生活記録にD-4シートを使用する事で把握する事ができる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	普段から職員が気付いた事や、家族と話した事などをミーティングで話し合い、モニタリングを行いプランに活かしている。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	実施期間で見直しし、状態の変化があった場合は、サービス担当者会議を開き作成している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	センター方式D-4のシートを生活記録と使用して変化を具体的に記録している。会話や御客様の様子など記録するように意識付けしているが、十分とは言えない。介護計画は、要約して職員が見れる状態にし、ケアに取り入れる事が出来る様にしている。	○	勉強会で記録の書き方を学ぶ予定がある。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設しているDSの御客様との交流や、合同行事を行ったり、レクに参加している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員は、地域運営推進会議への参加、ボランティアは、中高大学生を受け入れしている。消防署による避難訓練、地元教育機関との交流もあり、地域資源との関わりを持っている。	○	地域教育機関へこちらからも、出向いて行きたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている			
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターの介護支援専門員が地域運営推進会議に参加し、情報交換している。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々の希望に合わせて医療機関を決めている。協力医を確保し、必要に応じては、往診もしてくれる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	健康状態に関する支持や、助言がもらえる医師は確保しているが、認知症については難しい。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	1回／週の健康チェックをDSの看護師が行い、健康管理を行っている。特変、事故があったときには、随時看護師と相談し対応している。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	本人の状態に合わせ、医師、家族と相談している。御客様のサマリーを書き、安心して入院ができる様に対応している。入院中も職員が、面会に行き、状態把握し家族、医療との連携をとっている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期の勉強会を開いたり、ホーム会議で話し合いを行い、その都度対応しているが、全部の御客様については、話し合いは出来ていない。	○	家族会の時などを利用し、家族と話し合い確認をして行きたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	その都度話し合い対応しているが、万全ではない。	○	DSの看護師を交えて話し合いを行い、準備をして行きたい。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	保険医療、福祉関係者と情報交換を行い、情報の共有化を行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	心掛けているが職員の余裕のなさが態度に出てしまう事があり、細かい所まで配慮ができていない。 個人情報の取り扱いには、注意するように徹底している。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	個々の状態に合わせた対応を行い、言葉掛けやさり気ない介助を行っているがまだ、出来ていないことがある。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ゆとりを持った対応を心掛けているが、職員の余裕のなさが態度に出てしまう事がある。個々のケアという点では、まだ不十分である。	○ 今後その人らしい生活の質を上げて行く事が課題である。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	その場に合った衣類の選択ができる様に配慮している。美容院は本人の希望や、家族の要望に合わせて利用している。出張美容院(1回/月)を利用したり、家族と馴染みの美容院に行くお客様もいる。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の嗜好に合わせてメニューを考えたり、誕生日や、行事に合わせて献立を立てている。お客様の健康状態に合わせて、調理方法も工夫する様に努力している。食事作りや片付けも声掛けをして、一緒に行う様に心掛けているが、食事作りへの参加が少ない。食事委員が中心となり、話し合う場を作っている。	○ 定期的に栄養士に、献立のアドバイスを受ける様にしたい。お客様が、調理への参加する機会を増やしたり、参加し易い料理などを考えて行きたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	随時対応している。好きな物を職員と一緒に、買い求めに行く。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を記入し、本人に合わせて言葉を掛けている。おむつ、パットなどは、一人ひとりに合った使い分けをしている。排泄委員が中心となり話し合いを持ち、他の職員にも伝えている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴前には、バイタルチェックをし体調確認を行い、2日に1度は入浴出来るように声掛けをしている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間と日中の様子を申し送り確認し、1日の過ごし方を考慮している。随時御客様の様子を見ながら昼寝などの声掛けを行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	御客様を中心に、季節ごと楽しめる様に外出や行事を行い、楽しんでいる。洗濯物のたたみや、食器の片付けなどは、毎日行っているが、すべての御客様への対応ができていない、職員が行ってしまう事が多い。	○	できないだろうと決め付けないで視点を変えて、できる事を見つけて行く。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホーム内では、職員が金銭管理を行っているが、お金をもつ事の大切さは理解している。外出や、外食先で金銭を使う場合には、自分で支払える様に見守りを行っている。	○	お金に触れる機会を多く作って行きたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	みんなで外出する機会はあるが、個々の外出の機会が少ない。訴えない御客様に対しての働きかけが少ない。	○	職員が協力して希望が叶えられる様に対応して行く。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族旅行や行事などで外出する機会はあるが、本人の行きたい所などを聞き出す事が難しい。墓参りや好きな物を食べに行ったり、居酒屋に行く事などは、職員が対応しているが、全部の御客様に対応する事が出来ていない。	○	個々の御客様について、担当の職員が個別ケアの目標となっている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に合わせて対応している。年賀状などを職員と一緒に作成している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族同士でゆっくり過ごして頂ける様に、談話コーナー、居室、居間は自由に使っていただき、来やすい雰囲気を作っている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修に参加し報告会を開き、全ての職員が正しく理解出来る様にし、身体拘束のないケアを実践している。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は職員が見守りしている。夜間のみ安全の為に、玄関に鍵を使用している。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に御客様を見守る意識を持っている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	随時ホーム会議で話し合い、職員同士で取り扱いを確認して実行している。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルは常に確認出来る場所に貼り出し、勉強会も開いている。事故対策委員会を中心に1回/月集計し、ホーム会議で随時話し合い、再発防止に努めている。事故のあった時には、事故報告書を直ちに作成し、全職員が把握出来る様に回覧している。	○	全職員が熟知できるように勉強会、研修に参加出来るようにしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急法などを消防署に依頼して講習会を開いている。	○	職員全員が受ける事が出来る様に調整する。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	近隣の人達の協力を得て、一緒に参加していただき、避難訓練を2回/年行っている。	○	夜勤帯職員1名でのお客様の非難訓練を行ったが、出来ることは限られる為、今後も消防署の指導を受けたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族会や面会時に随時説明し、話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェックを1日2回行い体調の変化に注意している。変化のあった時はDSの看護師に相談し、随時家族にも連絡している。健康状態は毎日表に記録し、把握出来る様になっている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	分かり易い様に表にまとめ、職員が確認出来る様にしている。服薬は、その日の担当者が決めてあり、確認しながら行っている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事委員や排泄委員が中心となり下剤を服用しなくても排泄出来る工夫をしている。水分摂取量や排泄チェック表を記入して把握し、対応している。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後声掛けし自分で出来る所を行ってもらっている。確りとした確認が出来ていない。口腔ケアチェック表が作成してある。歯科医院との連携もとれている。	○	口腔ケアについての勉強会を開き全職員が習得出来る様にする。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	御客様に合わせた調理方法や、盛りつけの工夫をしている。摂取量は、記録して対応している。さり気なく介助し、食事を楽しむ事が出来る様に配慮している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルを作成してある。ゆひもや合同勉強会で感染症対策委員がその都度勉強会を開いている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	夜勤者が台所の調理用具の管理を、決められた日に行い、まな板などは、毎日最後に消毒している。賞味期限の確認も、備品係が確認し、分かる様に印をつけている。毎日の買い物には、クーラーバックを使用している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には花や、季節に合った飾り物を置き、ホームの玄関には水槽や、手作りの座布団を置いて家庭的な雰囲気作りをしている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来る限り家庭的な雰囲気を作る様に物品など馴染みの物を家族の協力を得て、置く様にしている。浴室やトイレ等は、まだ不十分である。落ち着いて生活して頂ける様に、音や光については気をつけて調整している。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	談話コーナーや和室、御客様の居室など自由に使って頂いている。廊下などに椅子を置き、ゆっくりと会話を楽しんで頂ける様に配慮している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物品を、持って来ていただく様に言葉かけしているが、使いなれた物が少なく、その方らしさが出来ていない	○	家族の協力も必要だが、リクレーションで作ったものや、思い出の写真などを貼るなどして行く。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	適宜な温度や湿度は、温度計や湿度計を見て調整している。朝の起床後や、掃除の時は窓を開け空気を入れ替えを行っている。夜間は個々の居室のエアコンで調整している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置は、お客様の状態に合わせて設置を検討している。身体機能が低下しても、出来る力を活かせるように設備を工夫して行く必要がある。	○	現在廊下、浴室の手すりを検討中。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	部屋の目印として名前を書いたプレートを出してあるが、戸の色やしつらえが同じように見える為、のれんを掛けて分かり易くしている。一人ひとりのお客様の状態を見て対応出来る様に、職員間で話し合いさりげなくフォローし、見守りを行っている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダは物干し場として利用したり、手軽に日光浴などして会話を楽しみ、気分転換に利用している。近くにある畑を借りて、お客様の力を活かした活動が出来る様にしている。		

V. サービスの成果に関する項目	
項目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある
	<input type="radio"/> ②数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> ③たまにある
	<input type="radio"/> ④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

事業所として、一番力を入れているのは、個別ケアです。お一人お一人の生活歴、趣味、好みを知り、その方に合った喜びを介護者が見出し、その笑顔を見られることが、私達ゆひもや職員の喜びでもあります。今を生きている認知症のお客様に、ひと時でも笑顔と笑い声が出るよう、その人のための何かを探していくことが、私達の大切な仕事だと思っています。